

平成21年4月16日(木)「第2期一流塾」の開塾式を開催しました。

一柳塾長の永年の思いを傾注して創設した当塾が、いよいよ第2期として新たに塾生39名を迎えスタートしました。

塾生の顔ぶれは、起業9社(うち社長・会長8名)/二・三世15社(うち社長9名)/その他15社(うち社長5名)で、社長・会長は合計22名であります。上場14社/非上場25社、東京21社/大阪8社/その他10社、平均年齢は43歳です。業種や企業規模は様々ですが、逞しく志の高い経営者並びに経営幹部として、夫々の自己紹介では当塾への期待を熱く発表しました。

一柳塾長は、「出でよ、志ある経営者たち」と題する基調講演を行いました。

当塾は、次世代を牽引せんとする情熱と志をもったリーダー、オーナー、経営者が「人間力」と「公の精神」、「全体最適対応力」やグローバルな視点を涵養する機会を提供し、ここから真の経営者に足りうる人材を輩出することを目的としています。

講師陣はすべて、一柳塾長が尊敬する友人・知人で、人間力溢れる本物の「人生の達人」ばかりであります。こうした「ホンモノの一流」に触れ、そこから何かを盗み取って自分のものにして、積極的に自身を高めていって欲しいと述べ、「過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えられる。」との言葉で締めくくりました。

開塾式では、当塾の特別顧問の塩川正十郎氏(東洋大学総長、元財務大臣)及び福川伸次氏((財)機械産業記念事業財団会長、元通産省事務次官)並びに講師の絹谷幸二氏(日本芸術院会員、東京藝術大学教授、画家)と堀新太郎氏(ベインキャピタル・ジャパン会長)が出席され、全員で記念撮影をしました。

塩川氏からは、わが国の取るべき政策課題として、民間活力を利用した制度開発並びに実態経済に即した対策が必要と述べられました。塾生には、講師陣と十分コミュニケーション出来るよう十分勉強して、問題意識を持って参加するようにと強調されました。

福川氏からは、現在、世界・国・企業の三つのレベルで環境が激変しており、夫々のレベルで管理能力が問われている。根底にある人間力が大事で、各人は自分は何をすべきか、行動原理を確立することが大切と話されました。

懇親会では、塩川特別顧問の乾杯のあと、特別ゲストの衆議院議員平沢勝栄氏から、ご自身の日常の苦労話と政治家の有るべき姿について、独特の軽妙なタッチで話され、会場は大いに賑わいました。

その後の懇談では、塾生同士の名刺交換並びに意見交換も活発に行われました。

懇親会の後では、昨年度から恒例となりました「塾長を囲む放談懇親会」が行われました。大勢の塾生に加え絹谷先生も参加し大いに盛り上がり、裱を脱いでの親交を深めることが

出来ました。

塾生からは、「本日の講師先生は、塾長の仰る本物を持った人生の達人ばかりで感激した。今後ともしっかり勉強していきたい。」「業種も年令も多岐に亘る集まりで、初回からこれだけ意見交換が出来る塾は、他にはない。今後が大いに楽しみ。」との声を頂きました。